

中国念頭に牽制

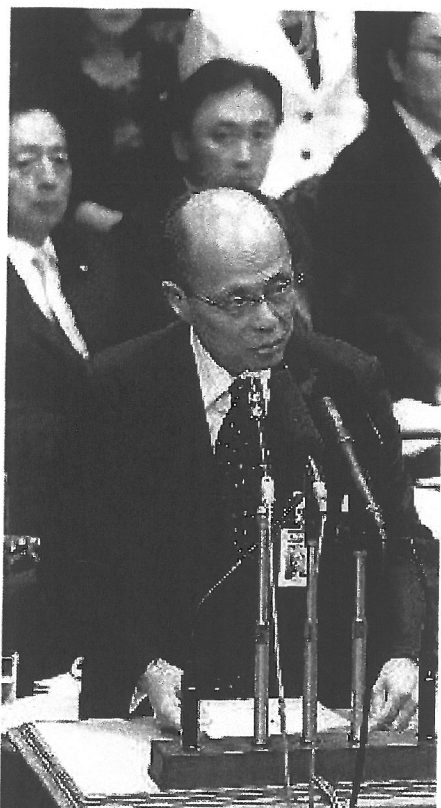
首相「自由な航行守る」

参院予算委

安倍晋三首相は23日の参院予算委員会で、中国の海洋進出を牽制し、北朝鮮に拉致問題で圧力をかける姿勢を鮮明にした。憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認の検討に向け、首相が起用した小松一郎・内閣法制局長官も初の答弁に臨んだ。

小松一郎・内閣法制局長官が23日の参院予算委員会で、8月の就任後初めて国会答弁に立った。集団的自衛権の行使容認に対する積極姿勢を安倍晋三首相に買われての起用だが、この日は見解を問われる場面はなかった。集団的自衛権の国際法的な位置づけなどを説明し、無難な滑り出しとなった。

小松長官、初答弁



参院予算委で質問に答える小松一郎・内閣法制局長官＝23日午前、越田省吾撮影

集団的自衛権は見解問われず

の小松氏について、周辺は「予 前通告されていなかった」「集団 案最初日から座りっぱなしで気 的自衛権は自然権か」といった 分が高まっていたのでは」。事 實問にも拳手で答弁を求め、滑

らかに説明。質問者の大塚耕平氏（民主）が「長官、お詳しくうなんで」と質問を重ねると、笑いが起きた。

外務省国際法局長時代は政府参考人としてたびたび答弁に立ち、国際法の著書もある専門家。終了後、谷垣禎一法相から「堂々たる初答弁でしたねえ」と声をかけられたが、自らは「こんな裏方に光を当てるべきじゃないと思いますよ」と記者に漏らし、委員会室を後にした。

（山下龍一）

「積極的平和主義」とも、この日午前「しっか 言う背景は」。自民党の山 谷えり子氏からそう問わ れ、安倍首相は中国を念頭 に「東シナ海だけではなく 南シナ海で、力による現状 変更のチャレンジがある。 海は開かれていなければな らない。自由な航行は守ら れなければならぬ」と海 洋進出を牽制した。

鳥しよ部の防衛について

も、この日午前「しっか 法的基盤を作っておく必 要もある」と述べたのに続 き、午後にも「防衛大綱の 見直しの中で引き続き精力 的に議論を進める」。いず れの答弁も、日中間で緊張 の高まる尖閣諸島などが念 頭にあるとみられる。

首相はサイバー攻撃につ いても「武力攻撃の一環と して行われた場合、自衛権 を発動して対処することが 可能だ」と表明した。米 国との間でも、対中国を念頭 に日米防衛協力のための指 針（ガイドライン）再改定 に盛り込む方針だ。

一方、北朝鮮による拉致 問題についても「圧力に重 心を置いた対話、圧力の姿 勢でもって、解決にあたり たい。安倍政権の間に、完 全解決したい」と強調した。